

高学年 テーマ② 災害の起こり方と対策を知る

学習のねらい	洪水災害の起こり方（種類）と対策について知る ■洪水災害の特徴について知る ■洪水災害の対策について知る ■災害が発生する前にできることを考える	
必要物品・資料	□ 授業用スライド資料(高学年② 洪水災害編) □ ワークシート(高学年② 洪水災害編)	□ プロジェクター・スクリーン □ レーザーポインター(もしくは差し棒)

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 (1分)	1		
導 入 (計5分)			
1. 大雨時に起こることを思い起こし、学習のねらいを確認する。			◆ グループ・ディスカッションができるように机・椅子を動かしておく。
1-① 大雨が降ると、どんな災害が起きるのかを考える。	2~3	● 大雨が降ると、どんな災害が起きますか？ ・ 洪水災害 ・ 土砂災害	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
1-② 洪水災害について確認する。	4 5	● 今日は洪水災害について詳しく勉強しましょう。洪水災害とはどのような災害でしょうか？ ・ 大雨が降って危ない ・ 水びたしになる ● 洪水災害は大雨などで川の水が溢れたり雨水が溜まってまちが水浸しになってしまう災害のことです。川の大きさや雨の降り方で起こる現象も違います。	◆ 洪水災害の基礎知識について確認する。 知識 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
	6	● 【写真提示:地域で発生した洪水災害の紹介】	◆ 地域の災害写真を提示する。 資料集参照:地域の写真への差替えや枚数を増やすなど適宜スライドを編集してください。
1-③ 本時の学習のねらいを確認する。	7	● 今日は、「洪水災害の起こり方と対策」について学習していきましょう。	
展 開 (計29分)			
2. 洪水災害の特徴について知る。	8	● まずは、洪水災害の起こり方について勉強していききたいと思います。	
2-① 洪水災害の起こり方を知る。 (参考:外水氾濫、内水氾濫)	9 10~11 12 13 14~15	● 洪水災害の写真です。どうなっているでしょうか。 ・ 川があふれている ● 【写真・動画提示:川があふれた場合の洪水の特徴を教える】 ● 写真のように洪水災害というと川の水があふれることが思い浮かぶかもしれませんが、川が近くになくても洪水は起こります。 ● 洪水災害の写真です。どうなっているでしょうか。 ・ まちが水びたしになっている ● 【写真提示:まちが水びたしになった場合の洪水の特徴を教える】	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ◆ 写真・動画と説明を合わせて提示して、事象を理解しやすくする。 ◆ 洪水災害の起こり方に興味をもたせ詳しく勉強しようとして授業への動機づけを行う。 ※ 参考:発展的な学習を進める場合は副読本の内水氾濫、外水氾濫の説明参照
2-② 洪水のときの身近にある危険を知る。	16 17~19 20 21	● 大雨でまちが水びたしになっているときはどんな場所が危ないと思いますか？ ・ 低いところにある道路 ・ 地下 ・ 水たまり ● 低い場所にある道路や水がたまっているところ、地下に近づくのはやめましょう。 ● 川が近くになくても安心してできません。大雨のときは身近な場所にも危険があります。大事なことは大雨が降ったときにどこに水がたまりやすいか知っておくことと近づかないことです。	◆ 写真(イラスト)を提示し、児童を指して答えさせる。 ◆ 川の周辺以外でも身近な場所に危険があることを知る。 ☆ 洪水の起こり方を知ることで、身近な場所にある危険を理解し、備えておけることを考える。 知識 思考力

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
3. 洪水災害の対策について知る。	22	● 次に、洪水災害の対策について勉強していききたいと思います。	
3-① 洪水災害の対策について考える。	23 24~ 29	● 洪水災害からまちを守るためにはどうしたらいいでしょうか？ ・ 川から水が溢れないようにする ・ 堤防やダムをつくる ● 【洪水災害の対策を教える】	◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう。 ◆ 洪水災害からまちを守るためにはどうしたらよいか考えさせ、その対策として堤防やダムなどをイラストや写真を見せて紹介する。 ☆ 洪水災害の対策について理解する。 知識
4. 洪水災害について学んだことを復習する。	30	● 洪水災害についての○×クイズをしましょう。正解だと思うほうに手を挙げてください。	
4-① 洪水災害からの避難と対策について確認する。(○×クイズ)	31~ 34	● 問1:大雨が降っています。水の流れもゆっくりで水が七割くらいの高さなので、避難所まで移動したほうが絶対に安全か？ → ×:近くの高い建物へ避難したほうが安全な場合もある ● 問2:「堤防」があれば、洪水災害が起こるのを防ぐことができる。 → ×:「堤防」があっても、雨がたくさん降ると川は溢れてしまう	◆ 洪水災害対策のひとつである「堤防」でも防ぎきれない災害もあることについて興味を持たせる。
4-② 早めの避難が重要であることを知る。	35 36	● 様々な洪水災害の対策をしても、対策を超える災害が起こることもあります。 ● 大事なことは、危なくなる前(洪水災害が起こる前)に避難をすることです。	☆ 早めの避難が重要であることを理解する。 判断力
5. 洪水災害に備える方法を考える。		[ワークシート(高学年② 洪水災害編)] を配付	
5-① ワークシート「問1」について考え、記入する。	37	● 「早めに避難する」ために日頃からどんなことを備えておけばよいでしょうか。理由も書いてみましょう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 災害から身を守るために日頃から備えておいた方がよいことを考えられる。 思考力
5-② 自分の考えを発表・交流する。 Point:アクティブラーニング グループ活動(教え合い) 教え合いをとおして、児童の理解を深める。	38 39~ 40 41 42	● 近くの人と見せ合ってみましょう。他の人の考えと違うところはありますか？ ・ ハザードマップで避難場所を確認する ・ 避難袋の準備をしておく ● いろいろ考えてもらいましたが、今日からできそうなことにさっそく、取り組んでみましょう。 ● 災害で命を落とさないためには、早めに行動すること、備えておくことが大切です。	◆ 友達とワークシートを見せ合って、教えあうように促す。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう。 ◆ ハザードマップはあくまで目安であることを伝える。 ◆ 時間があれば、ハザードマップをタブレットなどで調べてみるのもよい。
ま と め (計10分)			
6. ふりかえりをする。	43	● 今日の学習で学んだことをふりかえります。	
6-① ワークシート「問2」へ学習の感想を記す。	44	● 今日の学習の感想を書きましょう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 思ったことや感じたことを表現できる。 表現力
Point:アクティブラーニング レポート活動 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解を深める。			
6-② 本時のふりかえりをする。	45 46 47~ 49	● 洪水災害は川が近くになくても起こります。身近な場所の危険を知り近づかないことが大事です。 ● いろいろな災害対策が行われていますが対策を超える災害が起こることもあります。 ● 災害で命を落とさないために、「早めの避難」が大事で、そのためには日頃から災害に備えておくことが大切です。災害が起こる前からできることはたくさんあります。	☆ 早めに行動する、備えることの重要性を理解できた。 知識 ◆ 災害時の行動や備えを事前に家族と話し合っておくことを促す。 ☆ 事前の備えへの関心の高まりがみられる。 学びに向かう力
授業終了			